

# 資料編

## 第6次長期振興計画策定経過

令和6年度	
9月24日～25日	現地調査及びトップインタビュー
9月25日～27日	第5次長期振興計画後期基本計画の各課進捗確認ヒアリング
10月17日	第1回長期振興計画策定委員会及び専門部会
11月29日	職員研修
12月13日、19日	まちづくりワークショップ（町若手職員）
12月21日	まちづくりワークショップ（団体関係者）
1月18日	まちづくりワークショップ（一般町民）
1月17日～2月7日	町民アンケート（一般町民）
3月6日～3月21日	町民アンケート（中学2年生）
令和7年度	
4月9日	第1回長期振興計画審議会
5月28日	まちづくりワークショップ（中学3年生）
6月17日	第2回長期振興計画策定委員会
7月22日～25日	第6次長期振興計画前期基本計画の各課施策検討ヒアリング
8月1日	第2回長期振興計画審議会
9月16日	第3回長期振興計画策定委員会
9月17日	第3回長期振興計画審議会（基本構想案諮問）
9月17日～10月16日	パブリックコメント（基本構想案）
10月29日	第4回長期振興計画審議会
11月7日	答申（基本構想案）
11月13日	町議会全員協議会説明（基本構想案）
10月14日～11月14日	第1回～第2回専門部会
12月15日	基本構想議決（令和7年第4回議会定例会）
12月23日～1月22日	パブリックコメント（前期基本計画案及び総合戦略案）
1月27日	第5回長期振興計画審議会（前期基本計画案及び総合戦略案諮問）
2月4日	第4回長期振興計画策定委員会
2月6日	答申（前期基本計画案及び総合戦略案）
2月12日	町議会全員協議会説明（第6次長期振興計画及び第3期総合戦略）

# 町民アンケート結果（抜粋）

## 1 一般町民と中学生

### （1）調査目的

長期振興計画・総合戦略の策定に当たり、将来のまちづくりに反映していくため、町民を対象としたアンケートを実施しました。

### （2）調査対象及び調査方法、回収結果

項目	一般町民	中学生
調査対象	18歳以上の町内在住者	町内中学生
配布数	2,000票	124票
調査方法	調査票郵送ならびにWEB調査	WEB調査
調査時期	令和7年1～2月	令和7年3月
有効回収数	701票 (うち紙467票、WEB234票)	100票
回収率	35.1%	80.6%

### （3）数値の基本的な取り扱いについて

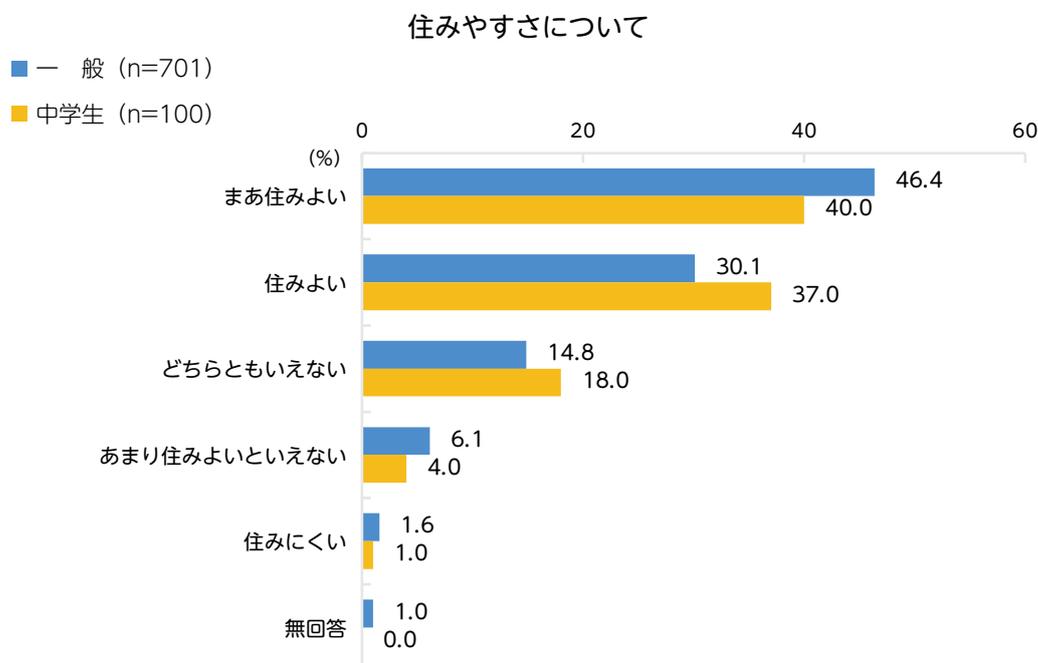
- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 各設問のグラフの母集団の総数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 回答者が複数の選択肢を回答できる設問については、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。
- ④ 文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化しています。

## 2 調査結果

あなたにとって、御代田町は住みよいまちですか。

一般では、住みよいまちかについては、「まあ住みよい」(46.4%)が最も多く、次いで「住みよい」(30.1%)の順となっています。「まあ住みよい」と「住みよい」をあわせた“住みよい”は76.5%となっています。

また、中学生では、「まあ住みよい」(40.0%)が最も多く、次いで「住みよい」(37.0%)の順となっています。「まあ住みよい」と「住みよい」をあわせた“住みよい”は77.0%となっています。



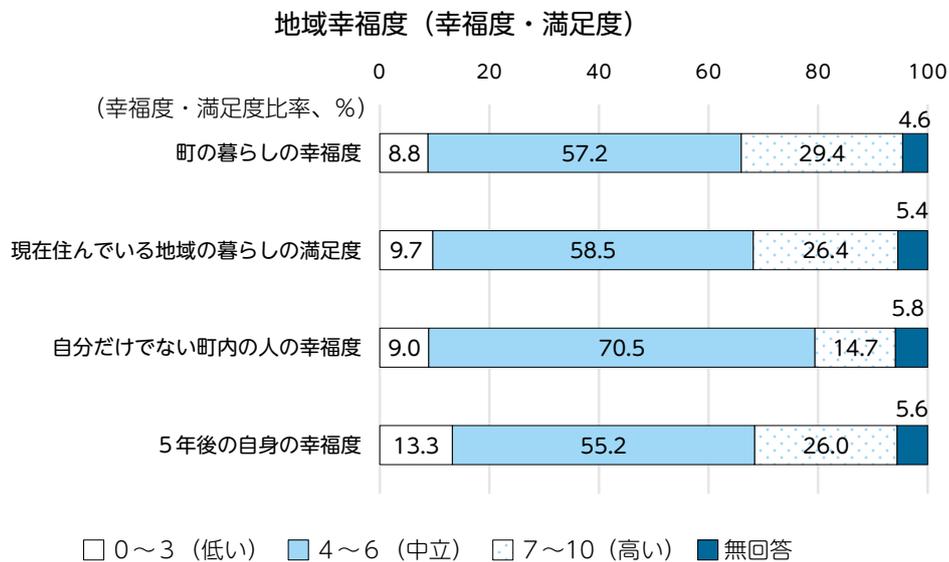
## 地域幸福度

地域幸福度の設問項目で設けられた幸福度・満足度の度合いについては、0～3点を「低い」、4～6点を「中立」、7～10点を「高い」とし、それぞれの比率を割り出しました。

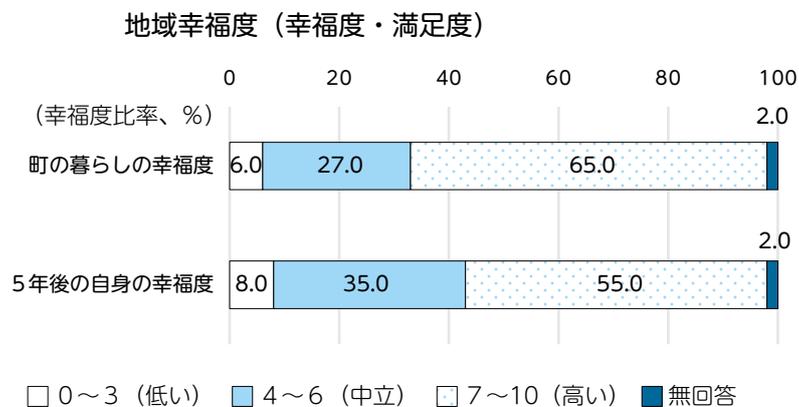
一般については、4項目の中では、「自分だけでない町内の人の幸福度」を「中立」(70.5%)とする人の割合が最も多くなっている一方で、「町の暮らしの幸福度」を「低い」(8.8%)とする人の割合は最も低くなっています。

なお、中学生については、2項目の中で、「町の暮らしの幸福度」を「高い」(65.0%)とする人の割合が最も多くなっています。

### 【一般】



### 【中学生】



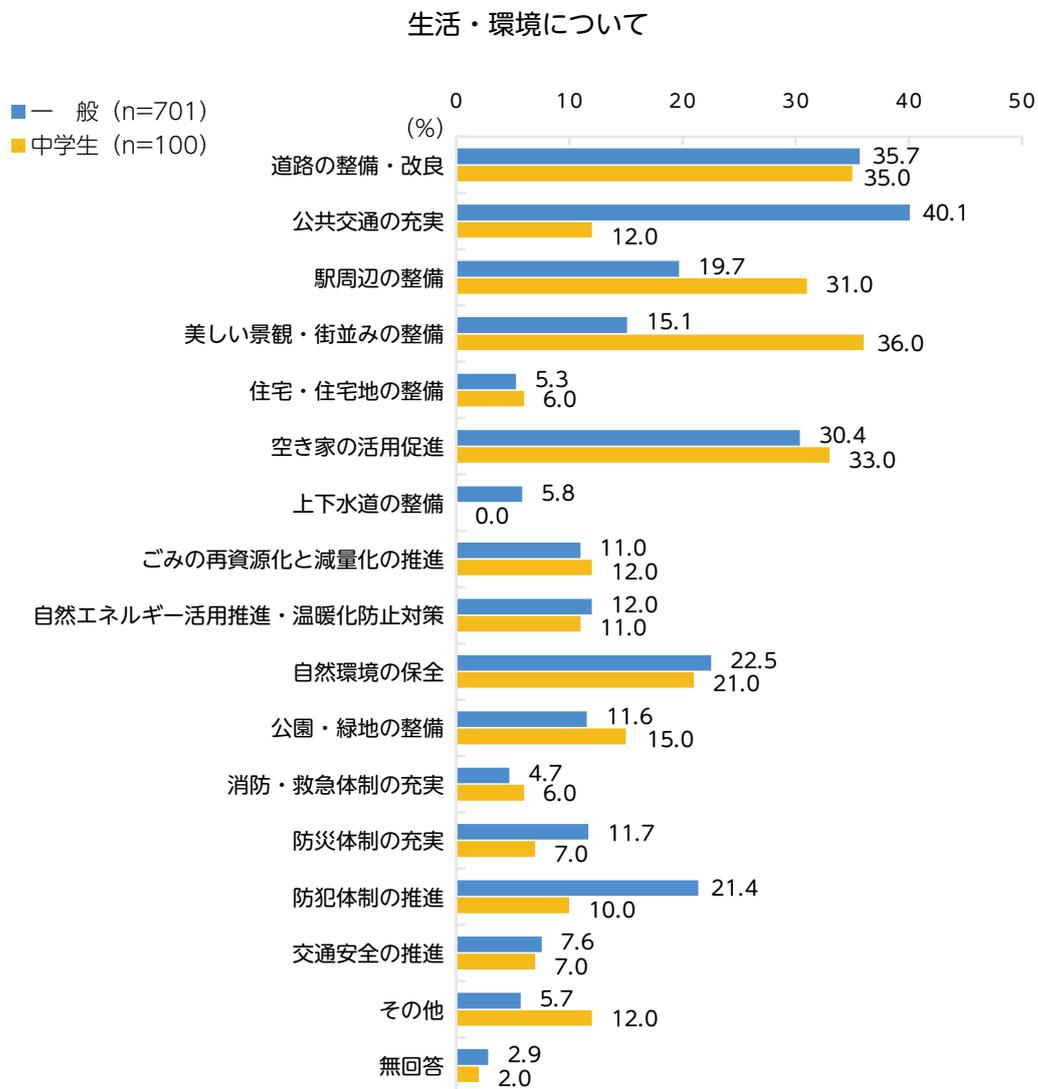
## 今後のまちづくりについて

それぞれの分野において、特に力を入れるべきだと思う取り組みを選んでください。

### 【生活・環境について】

一般は、「公共交通の充実」(40.1%)が最も多く、次いで「道路の整備・改良」(35.7%)の順となっています。

なお、中学生については、「美しい景観・街並みの整備」(36.0%)が最も多く、次いで「道路の整備・改良」(35.0%)、「空き家の活用促進」(33.0%)の順となっています。

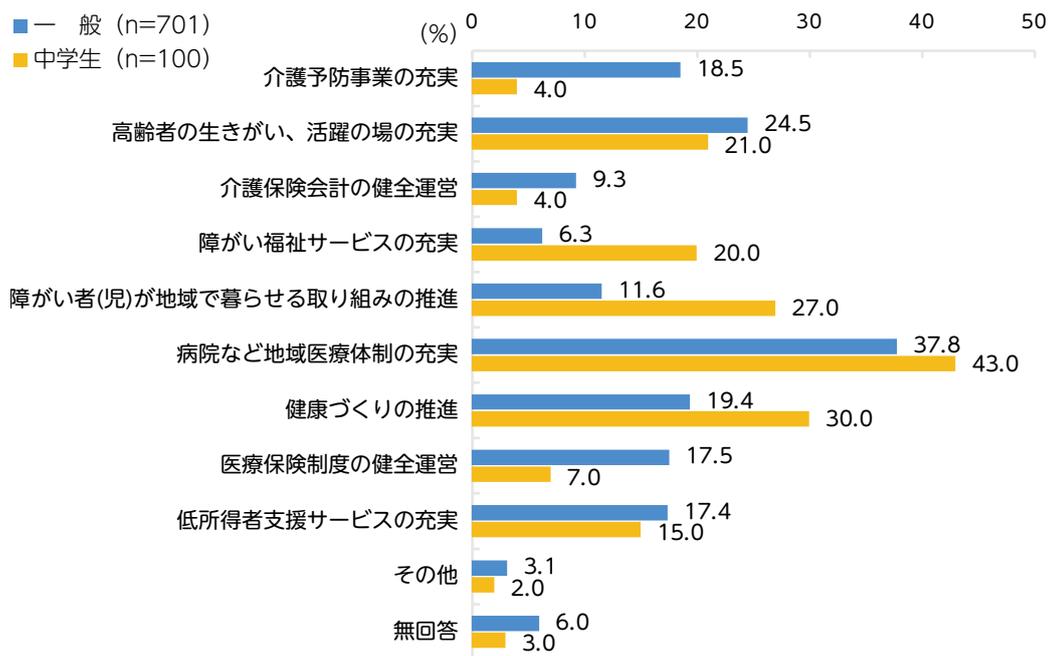


## 【福祉・保険・医療について】

一般は、「病院など地域医療体制の充実」(37.8%)が最も多く、次いで「高齢者の生きがい、活躍の場の充実」(24.5%)の順となっています。

なお、中学生については、「病院など地域医療体制の充実」(43.0%)が最も多く、次いで「健康づくりの推進」(30.0%)、「障がい者(児)が地域で暮らせる取り組みの推進」(27.0%)の順となっています。

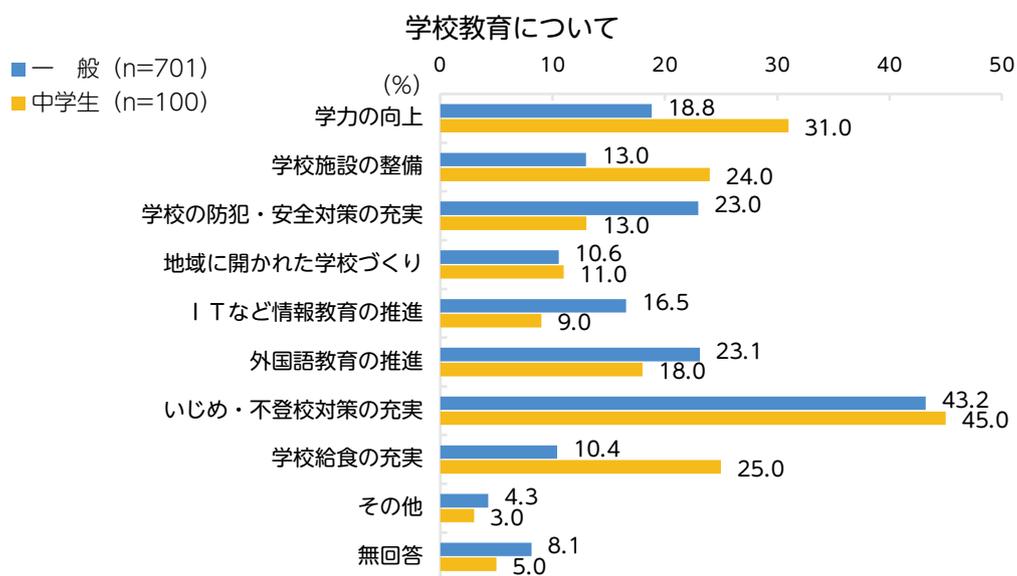
福祉・保険・医療について



## 【学校教育について】

一般は、「いじめ・不登校対策の充実」(43.2%)が最も多く、次いで「外国語教育の推進」(23.1%)の順となっています。

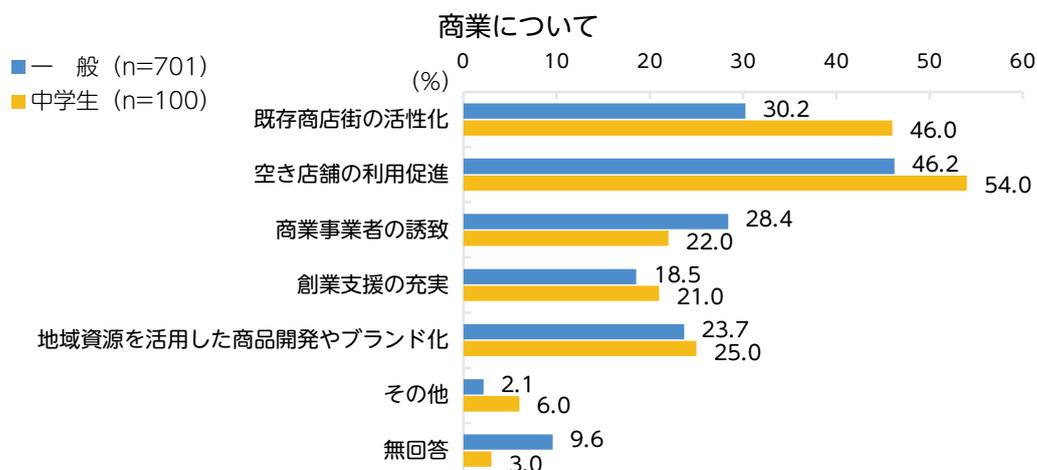
なお、中学生については、「いじめ・不登校対策の充実」(45.0%)が最も多く、次いで「学力の向上」(31.0%)、「学校給食の充実」(25.0%)の順となっています。



## 【商業について】

一般は、「空き店舗の利用促進」(46.2%)が最も多く、次いで「既存商店街の活性化」(30.2%)の順となっています。

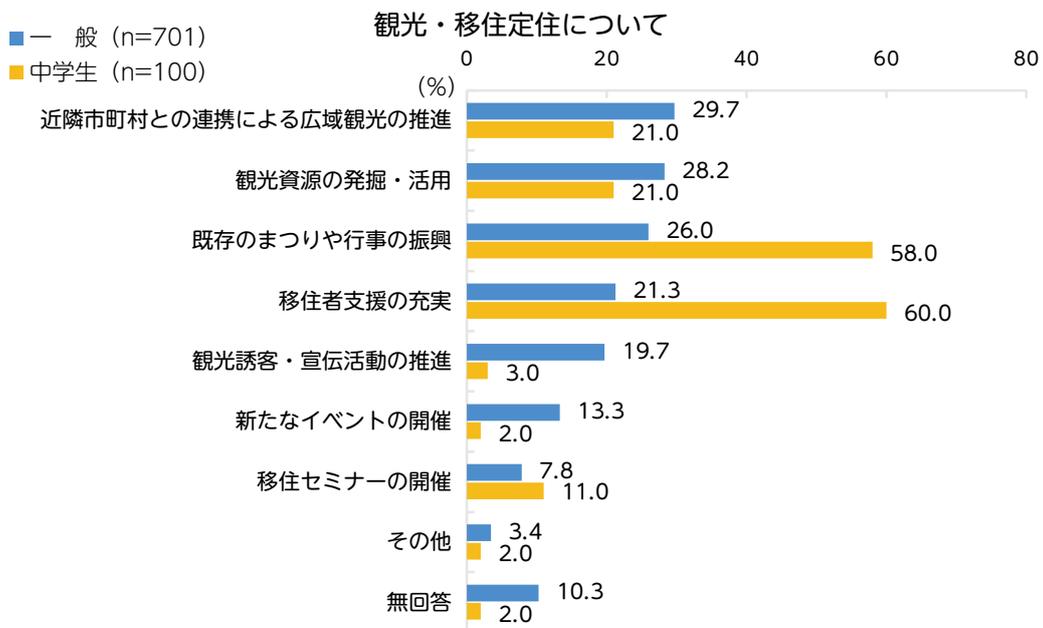
なお、中学生については、「空き店舗の利用促進」(54.0%)が最も多く、次いで「既存商店街の活性化」(46.0%)、「地域資源を活用した商品開発やブランド化」(25.0%)の順となっています。



### 【観光・移住定住について】

一般は、「近隣市町村との連携による広域観光の推進」(29.7%)が最も多く、次いで「観光資源の発掘・活用」(28.2%)の順となっています。

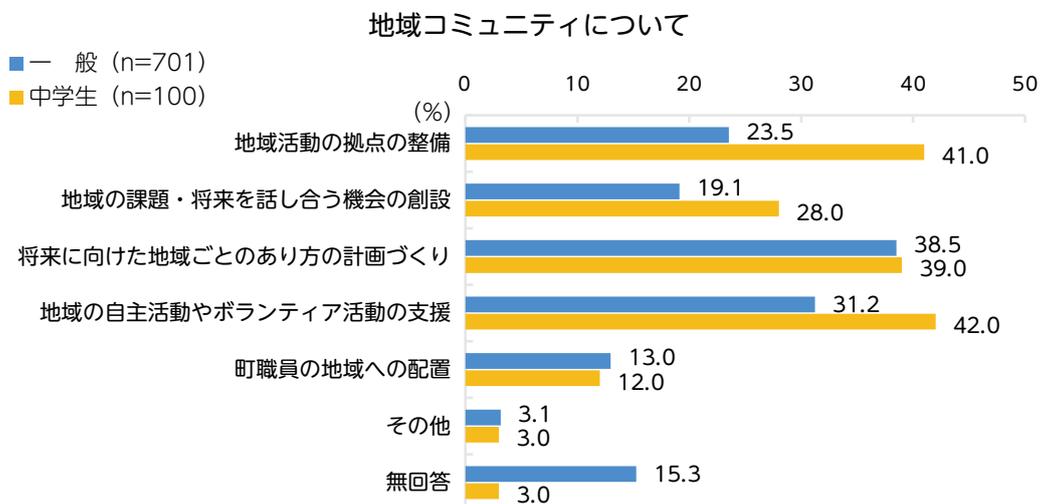
なお、中学生については、「移住者支援の充実」(60.0%)が最も多く、次いで「既存のまつりや行事の振興」(58.0%)、「近隣市町村との連携による広域観光の推進」・「観光資源の発掘・活用」(同率 21.0%)の順となっています。



### 【地域コミュニティについて】

一般は、「将来に向けた地域ごとのあり方の計画づくり」(38.5%)が最も多く、次いで「地域の自主活動やボランティア活動の支援」(31.2%)の順となっています。

なお、中学生については、「地域の自主活動やボランティア活動の支援」(42.0%)が最も多く、次いで「地域活動の拠点の整備」(41.0%)、「将来に向けた地域ごとのあり方の計画づくり」(39.0%)の順となっています。



# 町民ワークショップの意見（抜粋）

## 町若手職員、町民が自らの手で自らのまちの施策を産み出す試み

令和6年12月～令和7年5月の間、5回に渡って、まちづくりゲーム「マチュア・ソサエティ」（『成熟社会』の意味）を用いたワークショップを開催しました。

マチュア・ソサエティは、まちの人口減少を食い止めるため、次の4分野について、施策の提案をしていくゲームです。

- 「A：暮らし」（市街地整備、上下水道、交通、医療、教育生涯学習、男女共同参画）
- 「B：しごと」（商工会連携、観光開発、食の開発販促、地産地消、地域外からの収益）
- 「C：そなえる」（防災、防犯、備え、子育て、高齢者支援、障がい福祉）
- 「D：まちづくり」（自治会、町内会、ボランティア、地域活動、交流活動、勉強会、新たなコミュニティ）

参加者は、互いの提案する施策を真剣に評価し合い、高い評価を受けた人が高得点を獲得していきます。

ゲームには町若手職員や町民、団体関係者、中学生が参加し、和気あいあいとした中において、真剣に施策提案が行われ、各会場では最終的な最多得票アイデアも決定しています。

以下では今回の会議で提案されたアイデアを上記の4分野別に記載します。

長期振興計画策定に向けた  
御代田町 まちづくりワークショップ  
参加者募集!

参加人数 40名  
参加費無料  
高校生以上

日時: 1月18日(土) 10:00~12:00  
場所: 御代田町役場2階 大会議室

申し込み方法 右のQRコードまたはお電話でお申し込みください  
申込締切: 1月16日(木)

御代田町 問い合わせ先 御代田町役場企画財政課 企画係  
TEL: (0267) 32-3112 (直通) FAX: (0267) 32-3929



【ワークショップで出た意見（抜粋）】

町若手職員・一般町民・団体関係者		中学生
<p>【A：暮らし】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「御代田町に高校や大学を！」 事業</li> <li>● 「湯川で環境保全意識を高める」 事業</li> <li>● 「町の歴史の勉強会」 事業</li> <li>● 「小・中学生の農業体験」 事業</li> <li>● 「ただ歩くだけの歩道じゃない」 事業</li> <li>● 「みよた周遊バス」 事業</li> <li>● 「駅周辺開発」 事業</li> <li>● 「電信柱をなくして最高の景色を御代田町にもたらす」 事業</li> <li>● 「イベント用ドーム会場の設立」 事業</li> <li>● 「御代田駅そばプロジェクト」 事業</li> <li>● 「みよたの水」 事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「中学生と大人で勉強会」 事業</li> <li>● 「地域の子どもとふれあう」 事業</li> <li>● 「新しい教育補助制度をつくる」 事業</li> <li>● 「ご年配の方へ向けた学習」 事業</li> <li>● 「他の県や市町村の学校との交流」 事業</li> <li>● 「多国籍交流活動」 事業</li> <li>● 「道を広くする&amp;整える」 事業</li> <li>● 「町内バスをつくる」 事業</li> <li>● 「電車の本数を増やす」 事業</li> <li>● 「店を増やす（服屋、カフェ等）」 事業</li> <li>● 「町の活性化をしよう」 事業</li> <li>● 「音楽ホールの設立」 事業</li> </ul>
<p>【B：しごと】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「町の案内人（コンシェルジュ）」 事業</li> <li>● 「龍神道の駅」 事業</li> <li>● 「真楽寺の四季満喫」 事業</li> <li>● 「御代田町民（年齢問わず）全員観光ガイド」 事業</li> <li>● 「こども食品会社」 事業</li> <li>● 「格づけチェック祭りの開催」 事業</li> <li>● 「直売所の野菜価格を倍にする」 事業</li> <li>● 「みよた町版社会体験（キッズニア）」 事業</li> <li>● 「PUSH 型御代田町ハローワーク（マッチング）」 事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「飲食チェーン店を増やそう」 事業</li> <li>● 「みよたの名物浅間山のキャンプ登山ツアー」 事業</li> <li>● 「御代田町の星空を紹介するパンフレット」 事業</li> <li>● 「新しい町の名物（食べ物）をつくる会」 事業</li> <li>● 「地産地消の取り組み、みよたマーケット」 事業</li> <li>● 「スタンプラリーで御代田町に募金」 事業</li> <li>● 「24 時間開放のコワーキングスペース」 事業</li> <li>● 「地域の食材に触れられる機会」 事業</li> <li>● 「屋台村をつくる」 事業</li> </ul>
<p>【C：そなえる】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「誰でも気軽に居られる場所づくり」 事業</li> <li>● 「自分の特技を活かした勉強会の開催」 事業</li> <li>● 「学生への補助」 事業</li> <li>● 「子育て世代の地域への参加」 事業</li> <li>● 「子どもの教育費 無料にします！（～大学まで）」 事業</li> <li>● 「認知症の理解を広げよう」 事業</li> <li>● 「冥土死辻カフェ」 事業</li> <li>● 「ほどよく明るい町を目指す」 事業</li> <li>● 「災害用保存食品ディナーショー」 事業</li> <li>● 「防災に対する知識向上（特に浅間山）」 事業</li> <li>● 「全町民に知ってもらおう」 事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「児童館ボランティア」 事業</li> <li>● 「子どもたちの交流や親たちの交流の場をつくる」 事業</li> <li>● 「子どもを産んだ人に 50 万援助。10 歳までいったら 25 万」 事業</li> <li>● 「交流会」 事業</li> <li>● 「老人ホームでのボランティア」 事業</li> <li>● 「防犯・防災グッズを配る」 事業</li> <li>● 「避難訓練。ハザードマップ配布、備蓄品、備蓄食確認。」 事業</li> <li>● 「野生動物が町におりてこないようにしよう！」 事業</li> </ul>
<p>【D：まちづくり】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「子どもだけじゃない食堂」 事業</li> <li>● 「（ボランティア地域活動系）町内の〇〇さんのお仕事、体験してみよう！！イベント」 事業</li> <li>● 「縄文の暮らし体験」 事業</li> <li>● 「ボランティア」 事業</li> <li>● 「ボランティアポイ活」 事業</li> <li>● 「町内小・中学生による（有名人の）田んぼアート制作」 事業</li> <li>● 「おたくのところそんなことしてるの？」 事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「推しコミュニティ」 事業</li> <li>● 「居住者と地元民との交流コミュニティをつくる」 事業</li> <li>● 「みんなでボランティアをして、より良い御代田をつくろう」 事業</li> <li>● 「御代田町にある田んぼを使って地域の人々で米づくり（田植え）を体験する。」 事業</li> <li>● 「地元民のクイズ大会」 事業</li> <li>● 「御代田町のお店を集めて」 事業</li> <li>● 「自分の得意をみんなに見せる」 事業</li> </ul>

# 成果指標の過年度実績

頁	基本目標	施策	成果指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6 (実績値)	R12 (目標値)	目標値設定の考え方	担当
29	1	1	都市計画道路整備率	%	33.5	33.5	32.0	32.0	36.8	38.2	都市計画道路「東原西軽井沢線」等の整備により、整備率向上を目指す。	建設水道課 都市計画係
33		3	経常収支比率 (水道事業会計)	%	121.5	130.4	120.9	133.4	99.7	110 以上	計画に基づき安定的な事業運営を図ることで、計画期間内において10%程度の増を目指す。	建設水道課 上下水道 管理係
33		3	水洗トイレを利用している世帯の割合	%	89.9	90.7	91.3	91.8	91.9	94.0	近年の整備進捗速度を維持し、年0.4%程度の増を目指す。	建設水道課 上下水道工 務係
35		4	消防団員数	人	270	278	241	235	219	250	減少傾向であるものの、令和7年度に新たな取り組みとして「消防団PR動画撮影」を開始した。計画期間内において30人程度の増を目指す。	消防課 消防係
37		5	防犯灯LED数	基	-	376	1,533	1,622	1,680	1,830	防犯灯LED化は完了しており、今後は年25基の増を目指す。	総務課 行政係
37		5	防犯カメラの設置台数 (累計)	台	3	11	11	45	48	60	前計画期間内にて、公園、エコールみよた、保育園等に設置をした。今後は必要箇所へ順次設置し、計画期間内において12基の増を目指す。	総務課 行政係
43		2	公認心理師数 (正職)	人	1	1	1	1	1	2	1名は継続して確保し、計画期間内において1人の増を目指す。	教育委員会 学校教育係
45		3	生涯学習人材登録者数	人	52	57	62	64	71	100	増加傾向を維持し、計画期間内において30人程度の増を目指す。	教育委員会 生涯学習係
45		3	エコールみよた施設利用者数	人	19,810	24,277	44,481	46,776	49,087	52,000	増加傾向を維持し、年1.0%程度の増を目指す。	教育委員会 生涯学習係
45		3	図書総貸出冊数	冊	63,543	75,770	88,012	97,628	96,919	98,000	増加傾向を維持し、年0.2%程度の増を目指す。	教育委員会 図書館係
47	2	4	社会体育施設の利用者数	人	46,460	57,137	66,183	69,627	70,680	73,500	増加傾向を維持し、新体育館建設等の取り組みを通して、年0.7%程度の増を目指す。	教育委員会 社会体育係
49	5	5	浅間縄文ミュージアム入館者数	人	7,080	8,260	18,918	25,388	24,874	26,000	増加傾向を維持し、新たに建設した文化財収蔵庫でのイベント等を通して、年0.7%程度の増を目指す。	教育委員会 博物館係
49	5	5	浅間国際フォトフェスティバル来場者数	人	-	-	22,787	27,501	32,280	37,000	増加傾向を維持し、年2.4%程度の増を目指す。	産業経済課 地域振興係
53	3	1	農業生産出荷額(推計)5年平均	円	36億 3千万	36億 1千万	35億 4千万	35億 5千万	37億 5千万	37億 5千万	減少傾向であるため、現状維持を目指す。	産業経済課 農政係
53		1	農地利用集積率	%	54.3	54.7	57.9	63.1	63.0	70.0	増加傾向を維持し、年1.2%程度の増を目指す。	産業経済課 農政係
53		1	新規就農者数 (直近5年間累計)	人	9	7	7	4	4	5	現状を踏まえ、計画期間内において1名の増を目指す。	産業経済課 農政係

頁	基本目標	施策	成果指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6 (実績値)	R12 (目標値)	目標値設定の考え方	担当
53	3	1	多面的機能支払交付金対象面積	a	19,234	19,234	21,141	21,141	21,664	33,964	増加傾向を維持し、計画期間内において12,000a程度の増を目指す。	産業経済課 耕地林務係
55		2	飲食料品を主に町内で買っている家庭の割合	%	78.4	61.8	70.5	72.2	59.1	59.1	減少傾向であるため、現状維持を目指す。	産業経済課 商工観光係
55		2	町内事業者への支援件数	件	36	65	51	38	20	30	新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いた令和6年度と比較し、10件の増を目指す。	産業経済課 商工観光係
63	4	1	松くい虫による被害木の伐採件数	件	77	81	66	52	80	40	減少傾向を維持し、計画期間内において令和6年度半減を目指す。	産業経済課 耕地林務係
65		2	空き家バンク登録数(累計)	件	33	36	47	59	70	100	増加傾向を維持し、計画期間内において100件の登録者数を目指す。	産業経済課 地域振興係
67		3	公共交通の利用者数	人/日	1,166	1,360	1,466	1,613	1,656	1,660	増加傾向を維持し、新しい取り組みを図ることで、利便性向上と利用者数の微増を目指す。	企画財政課 企画係
69		4	EV車両の台数(公用車)	台	1	1	1	2	2	5	増加傾向を維持し、計画期間内において3台の増を目指す。	総務課 行政係
73	5	1	児童館一般来館者利用率	%	-	-	-	-	就学前 児童 14.0 小学生 児童 16.0	就学前 児童 18.0 小学生 児童 20.0	増加傾向を維持し、一般来館や「ひだまりっこ」を核に、利用者増を目指す。	町民課 児童館係
75		2	特定健康診査受診率	%	45.5	49.0	51.7	51.2	49.6	50.0	減少傾向であるが、受診勧奨を強化を図ることで、計画期間内において0.4%の増を目指す。	保健福祉課 健康推進係
75		2	ゲートキーパー養成講座受講者数	人	59	66	62	63	55	66	減少傾向であるが、直近の最大値である令和3年度同程度の11人の増を目指す。	保健福祉課 健康推進係
79		4	高齢者の平均自立期間	歳	男性 80.9 女性 83.4	男性 81.1 女性 84.1	男性 80.7 女性 84.6	男性 80.7 女性 84.2	男性 81.3 女性 84.3	男性 81.7 女性 85.2	延伸傾向であるため、計画期間内において近年と同程度の延伸を目指す。	保健福祉課 介護高齢係
81		5	障がい者グループホームの事業所数	件	1	1	1	1	1	2	現状を踏まえ、計画期間内において1事業所の増を目指す。	保健福祉課 福祉係
81	5	放課後等デイサービスの事業所数	件	1	2	2	2	2	4	現状を踏まえ、計画期間内において2事業所の増を目指す。	保健福祉課 福祉係	
85	6	1	区加入率	%	67.3	66.8	66.6	64.8	62.3	63.0	減少傾向であるが、計画期間内において0.7%の増を目指す。	総務課 行政係
85		1	ふるさと納税住民活動応援事業活用団体数(直近5年間累計)	団体	5	9	15	17	22	22	減少傾向であるが、支援金制度の拡充検討を図ることで、現状維持を目指す。	政策推進課 政策推進係
87		2	審議会等の女性委員の割合	%	18.9	19.0	26.1	26.1	28.6	32.0	男女共同参画計画策定後、女性比率は大幅に増加した。本計画期間においても継続実施し、32.0%を目指す。	企画財政課 企画係

頁	基本目標	施策	成果指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6 (実績値)	R12 (目標値)	目標値設定の考え方	担当
87	6	2	移住相談件数	件	-	-	-	39	75	96	増加傾向を維持し、年4.6%程度の増を目指す。	産業経済課 地域振興係
91		4	ふるさと納税寄附額	円	2.3億	4.9億	5.3億	6.5億	6.7億	10億	増加傾向を維持し、計画期間内において寄附額10億円を目指す。	政策推進課 政策推進係
93		5	町公式LINEおともだち登録者数(累計)	人	-	-	-	1,590	4,125	10,000	町民約17,000人のうち、スマートフォンを保有する方全員のともだち登録を目指す。	総務課 情報防災係
98	1	1	創業者数 (直近5年間累計)	件	0	7	17	24	28	30	現状を踏まえ、計画期間内において微増を目指す。	産業経済課 商工観光係
100	2	2	人口の社会増 (直近5年間累計)	人	193	445	679	1,124	1,443	1,443	新型コロナウイルス感染症拡大により、生活様式が変化し、近年の社会増は著しい。計画期間内において現状維持を目指す。	企画財政課 企画係
100	2	2	年間観光入込客数	人	375,000	52,700	84,000	132,000	128,000	132,000	直近3年間の最大値である令和5年度(龍神まつり50周年記念)と同値を目標とする。	産業経済課 商工観光係
101	2	2	ふるさと納税の寄附件数	件	4,372	9,270	11,602	12,361	13,007	20,000	増加傾向を維持し、計画期間内において寄附件数20,000件を目指す。	政策推進課 政策推進係
101	2	2	ふるさと納税リピーター寄附者率	%	11	9	23	27	28	35	増加傾向を維持し、計画期間内においてリピーター寄附者率35%を目指す。	政策推進課 政策推進係
102	3	3	出生数	人	95	95	114	88	95	95	現状を踏まえ、計画期間内において現状維持を目指す。	保健福祉課 健康推進係
102	3	3	この地域で子育てをしたいと思う人の割合	%	96.8	96.2	97.6	98.2	98.9	98.9以上	増加傾向を維持し、計画期間内において現状維持以上を目指す。	保健福祉課 健康推進係
102	3	3	乳幼児健診の受診率	%	99.2	98.4	97.2	98.5	98.8	98.8以上	現状を踏まえ、計画期間内において現状維持以上を目指す。	保健福祉課 健康推進係
103	3	3	児童館利用者数	人	42,259	45,800	45,637	46,754	60,326	60,326	令和6年度に急増しており、今後こどもの数が減少していく推計を踏まえ、現状維持を目指す。	町民課 児童館係
103	3	3	公設学習塾「夢サポート塾」の利用率	%	41.1	28.7	40.2	38.4	36.2	50.0	増加傾向を維持し、利用率50.0%を目指す。	教育委員会 学校教育係
103	3	3	授業がわかる児童生徒の割合	%	小学校 89.1% 中学校 75.9%	小学校 91.0% 中学校 88.3%	小学校 92.0% 中学校 86.7%	小学校 94.7% 中学校 85.0%	小学校 92.5% 中学校 87.3%	小学校 95.0%以上 中学校 90.0%以上	増加傾向を維持し、小学校は直近の最大値である令和5年度以上を、中学校は令和3年度以上の割合を目指す。	教育委員会 学校教育係
104	4	4	自主防災組織	区	10	10	10	10	9	18	すべての区での自主防災組織立ち上げを目指す。	総務課 情報防災係
104	4	4	ごみ排出量 (1人1日当たり)	g/人日	524	524	526	496	494	495	人口増加に伴い、令和7年度推計値が507g/人日で見込まれている。排出量削減を図り、増加を抑制することで、同程度の維持を目指す。	町民課 環境衛生係

## 御代田町長期振興計画審議会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

	氏 名	所 属
会 長	赤 田 憲 子 (中 山 温 夫)	御代田町議会 総務福祉文教常任委員会委員長
副会長	重 田 重 嘉	御代田町都市計画審議会会長
	井 田 理 恵	御代田町保健補導員会会長
	大 井 忍	御代田町民生児童委員協議会副会長
	大 井 壽 尚	御代田町農業委員会会長
	大 井 英 俊	御代田町区長会会長
	大 木 加奈江	その他町長が必要と認めるもの
	荻 原 道 子	御代田町教育委員会教育委員
	尾 臺 有 加	御代田町商工会女性部長
	佐々木 早 苗	社会福祉法人蒲公英 たんぽぽ保育園園長
	白 石 藤 吾	ミネベアミツミ株式会社 軽井沢人事総務部 ゼネラルマネージャー
	中 山 悟	御代田町社会福祉協議会会長
	森 泉 謙 夫 (黒 岩 旭)	御代田町議会 町民建設経済常任委員会委員長
	山 越 匡 洋	八十二長野銀行株式会社 御代田支店支店長

※ ( ) は R7.9.24 までの委員

# 諮問書（基本構想）

7 御発第 2635 号  
令和 7 年 9 月 17 日

御代田町長期振興計画審議会  
会長 中山 温夫 様

御代田町長 小園 拓志

## 第 6 次御代田町長期振興計画（基本構想）について（諮問）

第 6 次御代田町長期振興計画の基本構想案を作成しましたので、御代田町長期振興計画審議会条例第 3 条に基づき、別添のとおり諮問します。

## 答申書（基本構想）

7 御長振審第1号

令和7年11月7日

御代田町長 小園 拓志 様

御代田町長期振興計画審議会

会長 赤田 憲子

### 第6次御代田町長期振興計画（基本構想）について（答申）

令和7年9月17日付け7御発第2635号により諮問のありました、第6次御代田町長期振興計画の基本構想案について、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、適当であると認め、下記のとおり意見を付して答申します。

#### 記

- 1 町民にとって分かりやすく、理解しやすい計画となるよう配慮されたい。  
特に、専門的な用語や表現については、必要に応じて注釈や補足説明を加え、丁寧に示されたい。
- 2 人口増加を続けてきた本町において将来的に人口減少へ転じる推計が示されたことを踏まえ、まちの将来像「未来へつなぐ サステナブルタウン 御代田」の趣旨を町民に丁寧に説明されたい。
- 3 本審議会の審議の過程において各委員から出された意見や提案については、今後の基本計画策定に十分に踏まえられたい。
- 4 本計画の概要および将来像について十分な周知を図ることで、町民の理解と協力を得ながら着実な推進を図られたい。

# 諮問書（前期基本計画及び第3期総合戦略）

7 御発第 5290 号  
令和 8 年 1 月 27 日

御代田町長期振興計画審議会  
会長 赤田 憲子 様

御代田町長 小園 拓志

## 第 6 次御代田町長期振興計画 （前期基本計画・第 3 期総合戦略）について（諮問）

第 6 次御代田町長期振興計画の前期基本計画案及び第 3 期総合戦略案を作成しましたので、御代田町長期振興計画審議会条例第 3 条に基づき、別添のとおり諮問します。

# 答申書（前期基本計画及び第3期総合戦略）

7 御長振審第2号

令和8年2月6日

御代田町長 小園 拓志 様

御代田町長期振興計画審議会

会長 赤田 憲子

## 第6次御代田町長期振興計画 （前期基本計画・第3期総合戦略）について（答申）

令和8年1月27日付け7御発第5290号により諮問のありました、第6次御代田町長期振興計画の前期基本計画案及び第3期総合戦略案について、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、適当であると認め、下記のとおり意見を付して答申します。

また、計画の推進にあたっては、基本構想で定めたまちの将来像「未来へつなぐ サステナブルタウン 御代田」の実現に向けて、町民と行政が一体となり着実に取り組んでいただけるようお願いいたします。

### 記

- 1 様々な課題や社会情勢の変化に対応し、常に町民のニーズを的確に捉えながら、必要に応じた見直しを行うなど、状況に応じた柔軟な運用を図られたい。
- 2 分野横断的に推進するプロジェクトや、一つの部署では対応が困難な課題に対しては、組織全体で対応し、各部署の連携強化を図られたい。
- 3 町民と行政、企業等の多様な主体が連携し、本計画に基づく施策を推進していくため、本計画の内容が広く共有されるよう、十分な周知を図られたい。
- 4 本計画に基づく各施策については、適切な進捗管理を行い、必要に応じて点検・評価を行うと共に、その結果を今後の施策の推進に活かされたい。
- 5 本審議会の審議過程において各委員から出された意見や提案については、今後の各施策の実施に当たり、十分に踏まえられたい。

# 御代田町長期振興計画審議会条例

昭和 50 年 12 月 23 日

条例第 28 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、御代田町長期振興計画審議会の設置及び運営に関する事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 御代田町の長期振興計画に関する必要事項を調査審議するため御代田町長期振興計画審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(任務)

第 3 条 審議会は、町長の諮問に応じ、次の各号に掲げる事項について調査審議するものとする。

- (1) 御代田町の長期振興計画に関すること。
- (2) 御代田町の総合戦略に関すること。
- (3) その他長期振興計画の推進のために必要と認められること。

(組織)

第 4 条 審議会は 14 名以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 町議会議員
- (2) 識見を有するもの
- (3) その他町長が必要と認めるもの

(任期)

第 5 条 委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 6 条 審議会に会長及び副会長各 1 名を置き、委員が互選する。

- 2 会長は、会務を総理し審議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 条 審議会は、必要に応じ会長が招集する。

- 2 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 会長は、会議の議長となる。

(幹事及び書記)

第8条 審議会に幹事及び書記若干名を置き、町職員のうちから町長が任命する。

2 幹事及び書記は、会長の命を受けて事務に従事する。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成16年3月24日条例第6号)

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (令和6年9月18日条例第27号)

この条例は、公布の日から施行する。

# 御代田町長期振興計画に関する要綱

令和6年8月20日

訓令第8号

(目的)

第1条 この要綱は、御代田町長期振興計画（以下「長期振興計画」という。）を策定するための組織及び運営に関する必要な事項を定め、もって長期振興計画策定事務の円滑な推進を図ることを目的とする。

(委員会等の設置)

第2条 前条の目的を達成するため、次の機関を置く。

- (1) 長期振興計画策定委員会
- (2) 長期振興計画策定委員会専門部会

(長期振興計画策定委員会)

第3条 長期振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は、副町長をもって充て、副委員長は、教育長をもって充てる。
- 3 委員長は、委員会を統括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 委員は、課長、次長、局長をもって充てる。
- 6 委員会は、次に掲げる事務を処理する。

- (1) 長期振興計画の策定に関すること。
- (2) 御代田町の人口ビジョンの策定に関すること。
- (3) 御代田町の総合戦略の策定に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、委員長が必要と認める事項

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を求めることができる。

(長期振興計画策定委員会専門部会)

第5条 委員会にその所管事務に係る専門的事項を分掌するため、長期振興計画策定委員会専門部会（以下「部会」という。）を置く。

- 2 部会は、部会長、副部会長及び部会員をもって組織する。
- 3 部会長及び副部会長は委員をもって充てる。

- 4 部会長は、部会を統括する。
- 5 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 6 部会員は、課長、次長、局長、参事、課長補佐、係長から委員長が指名する。
- 7 部会長は、部会における事務、調査等を終了したときは、その結果を委員会に報告するものとする。

(庶務)

第6条 委員会及び部会の庶務は、企画財政課において処理する。

(補則)

第7条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この訓令は、公表の日から施行する。

(御代田町長期振興計画策定に関する要綱の廃止)

- 2 御代田町長期振興計画策定に関する要綱（平成元年御代田町訓令第3号）は、廃止する。

# 第6次 御代田町長期振興計画 第3期 御代田町総合戦略

未来へつなぐ サステナブルタウン 御代田

---

発行／御代田町

〒389-0292

長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口1794番地6

TEL 0267-32-3111 (代)

FAX 0267-32-3929

ホームページ URL / <https://www.town.miyota.nagano.jp>

編集／御代田町 企画財政課

発行日／令和8年3月



